※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ２１６ |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語 | 科目 | 古典探究 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 高等学校「精選古典探究」（第一学習社） | | | | | | |
| 副教材等 | 学ぶぞ古典文法<br>三訂版古文単語覚えるぞ３２１<br>基本の古文大学入学共通テスト対策<br>完成　日本文学史ノート〈三訂増補版〉 | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・教科書、ノート、古文単語帳、古典文法書を必ず持ってきてください。
・ノートには授業で指示された内容や板書を書き写すだけでなく、メモを積極的に取りましょう。
・予習として必ず本文を音読し、担当の先生から指示があれば本文を丁寧に書き写してください。授業の後には内容を振り返って復習しましょう。
・国語便覧はカラーの図絵が豊富で作品の概要を知るのに最適な教材です。授業で使用する以外の場面でも積極的に活用してください。
・古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身につけてください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。
・語彙を増やし、文法を理解していく過程でも、多種多様な古典作品の登場人物や作者の心情を考える際にも、また、それぞれの作品の背景にある政情や文化を理解していく際にも、共通して感じてもらいたいのは現代の日本に生きる私たちに通じるところが多いということです。テクノロジーはまさに「秒進分歩」で進化し、グローバル化がますます進む現代社会だからこそ日本文化のルーツを探り、理解し、味わってほしいと思います。漢文学習では、その日本文化の醸成に多大な影響を与えた中国文化について、漢文読解を通じて理解を深めてみてください。そして、現代日本の文化や他国の文化と比較してみましょう。このような「温故知新」の学びの中で、新たな発見があるかもしれません。

## ２　学習の到達目標

(1) 古典文法や古文単語を駆使し、的確に文章を読解する能力を養う。
(2) 古典の文章を的確に読み取り、豊かな想像力を磨くことで、当時の価値観や思想などを具体的に理解できる力を身につける。
(3)言葉がもつ価値への認識を深めるとともに，生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ，我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め，言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|

※令和４年度以降入学生用

| | | | |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 古典に用いられている語句の意味、用法及び文の構造を理解する力が身についている。 | 「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 積極的に多くの古典作品を味わうことで、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、また、言葉を通じて他者と関わることで伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとする。 |
| 上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。<br>学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。 | | | |

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 中古・中世の随筆を読み、自然や人間に対する古人の感性に注目する。<br>［教材］<br>徒然草 | a：古典の作品に表れている言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている<br>b[読]：文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確にとらえている。<br>c：古人の感性をよみ取り、現代社会との相違点を読み取ろうとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 小テスト<br>ワークシート<br>ノート |
| | 著名な和歌にまつわる話を読み、説話として語り伝えられた背景事情について理解を深める。<br>［教材］<br>古今著聞集 | a：古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにしている。<br>b[読]：文章を通して、登場人物の行動の意味を読み取っている。<br>c：積極的に説話を読み、和歌の修辞を理解しながら、話の面白みを理解している。 | 定期考査 | 定期考査 | 小テスト<br>ワークシート<br>ノート |
| | 物語に表れている登場人物の描写を読み取るとともに、作中に登場する和歌の役割についても理解する。<br>［教材］<br>伊勢物語 | a：基本的な助動詞の用法について理解し、知識を増やしている。<br>b[読]：古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取っている。<br>c：作中に登場する和歌について、物語における和歌の働きを理解している。 | 定期考査 | 定期考査 | 小テスト<br>ワークシート<br>ノート |
| 二学期 | 中宮定子のサロンを取り巻く豊かな文化と人間関係や当時の宮廷生活について理解しながら、我が国の文化と外国の文化との関係について理解を深める。<br>［教材］<br>枕草子 | a：助動詞や敬語の用法について理解している。<br>b[読]：文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確にとらえている。<br>c：随筆に表れたものの見方・考え方・美意識を理解しつつ、漢詩文とかかわりのある文章を読むことで、我が国の文化と中国の文化との関係について積極的に理解を深めようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 小テスト<br>ワークシート<br>ノート |
| | 登場人物の描写を読み解くことを通して戦乱の時代を生きた人々の人物像や心情を考察する。<br>［教材］<br>史記 | a：漢文に頻出する語彙の読みと意味や区報を確認しつつ訓読し、現代語訳することができる。<br>b[読]：書き手の考えや目的、意図をとらえて内容を解釈し、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 小テスト<br>ワークシート<br>ノート |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | c:各場面の展開を整理し、登場人物のp言動から、それぞれの心情や性格を進んでとらえようとしている。 | | | |
| 三学期 | 登場人物の心情を行動や状況に即して読み取り、物語に親しみながら、文章を味わう。<br>［教材］<br>源氏物語 | a:語彙を豊かにし、助動詞や敬語の用法を確認しながら適切に現代語訳をしている。<br>b[読]:登場人物の相互関係や言動、心情を読み取りつつ、帝と桐壷更衣との交情や光源氏の生い立ちを理解している。<br>c:今までの学習を生かして長編物語を読み、人物造形・心理描写・和歌の役割などに注意しながら、積極的に内容をとらえようとしている。 | 定期考査 | 定期考査 | 小テスト<br>ワークシート<br>ノート |

４　学習の活動

※表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　０　）時間

・書くこと　…　（　１０　）時間

・読むこと　…　（　６０　）時間